



グローバル情報技術で笑顔を創る
株式会社 **SYSホールディングス**

2022年7月期 第2四半期 決算説明

2022年3月10日
(銘柄コード：3988)

決算概要

…p.3~8

- ・ 前期比 ・ 予想と実績の比較 ・ 5期通期比較と進捗
- ・ 増減要因（営業利益率） ・ 上場以降の中長期投資と営業利益率の推移

トピックス

…p.9~22

- ・ SDGsへの取り組み ・ M&Aの実績（スレッドアンドハーフ、マグナシステム）
- ・ M&A後の業績比較とのれん償却と残高 ・ 若手経営者の活躍
- ・ 外国人採用について ・ 外国籍社員の紹介
- ・ 女性活躍推進と働き方改革への取り組み
- ・ 従業員エンゲージメント向上の取り組み ・ 障がい者雇用 ・ CSR活動
- ・ アドソル日進との業務提携 ・ 企業理念の改定

業績予想

…p.23~27

- ・ 連結業績予想（通期） ・ 新型コロナウイルス流行による業績への影響
- ・ ソリューション別売上高推移（予想） ・ 国内地域別売上高推移（予想）

今後の展開

…p.28~35

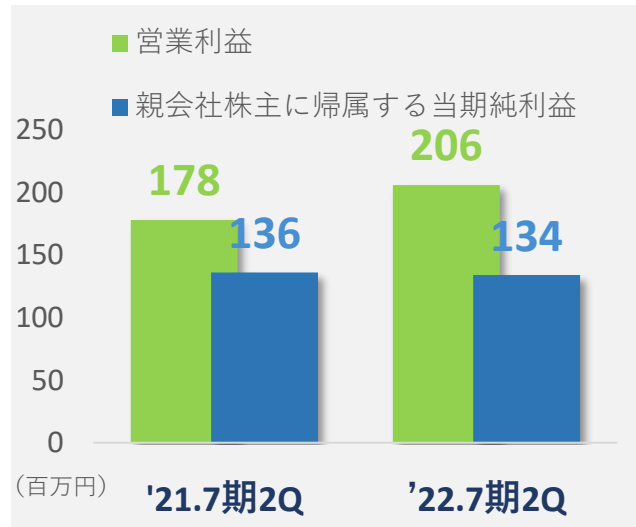
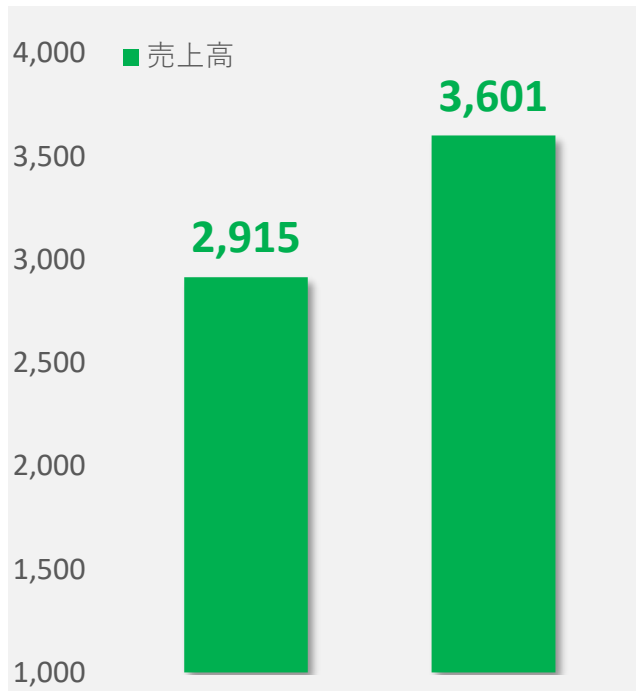
- ・ グローバル製造業事業領域 ・ 社会情報インフラ事業領域
- ・ 案件のご紹介（SYS ERP Cloud販売計画）
- ・ 国内従業員採用人数の推移と今後の採用計画
- ・ 配当政策 ・ 当社グループが目指すもの



**2022年7月期 第2四半期
決算概要**

FOR
Your
Smile

2022年7月期第2四半期 決算概要【前期比】



▶ 前年同期比の増減

単位：百万円

	'21.7期2Q	'22.7期2Q	増減額	増減率
売上高	2,915	3,601	685	23.5%
営業利益	178	206	28	15.8%
営業利益率	6.1%	5.7%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	136	134	▲2	▲1.6%

▶ 増収

▶ 増益

▶ 前期からの増減要因

売上高

- ▼ 増加要因
 - ・ 社会情報インフラ事業の受注増加
 - ・ M&Aによる増加
 - ・ 積極的な採用再開
- ▼ 減少要因
 - ・ 半導体不足による受注延期

営業利益

- ▼ 増加要因
 - ・ オンラインツールの活用による経営の効率化
 - ・ M&Aによる増加
 - ・ 積極的な採用再開
- ▼ 減少要因
 - ・ インドネシアロックダウンによる事務所閉鎖
→ ホテルでの業務継続により経費増加

2022年7月期第2四半期【予想と実績の比較】

▶ 予想と実績の比較

単位：百万円

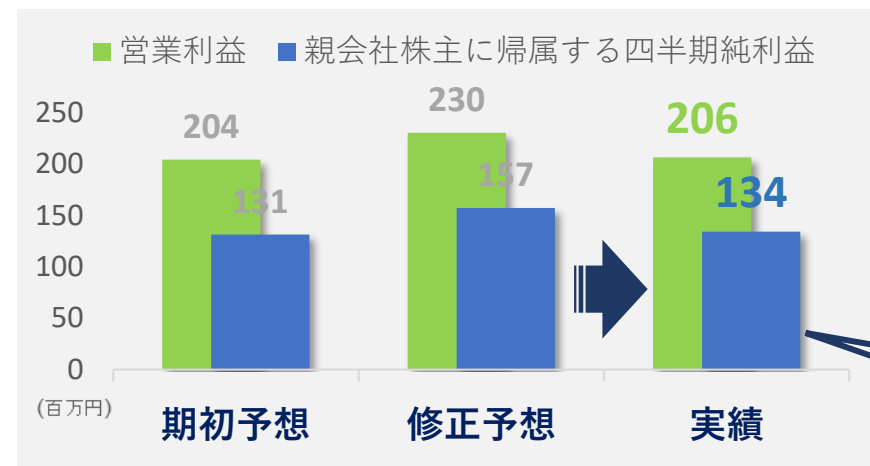
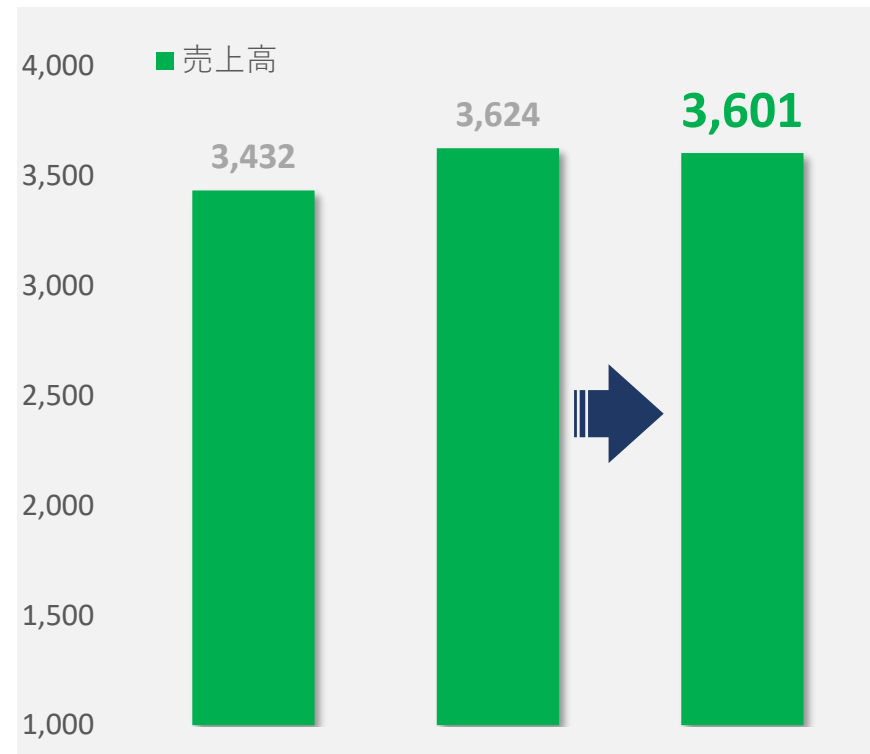
	2/18 修正予想	実績	差額	差額率
売上高	3,624	3,601	▲22	▲0.6%
営業利益	230	206	▲23	▲10.3%
営業利益率	6.4%	5.7%	-	-
親会社株主に 帰属する四半 期純利益	157	134	▲23	▲14.9%

(参考) 期初予想と実績の比較

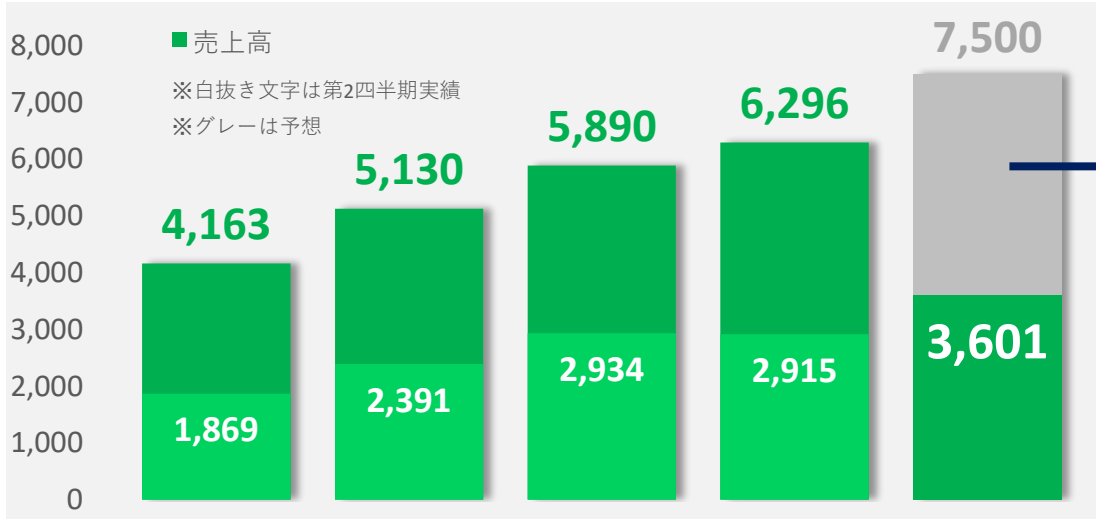
単位：百万円

	期初予想	実績	差額	差額率
売上高	3,432	3,601	168	4.9%
営業利益	204	206	2	1.1%
営業利益率	6.0%	5.7%	-	-
親会社株主に 帰属する四半 期純利益	131	134	2	2.2%

収益認識基準による変動額見積不足による
予想比減



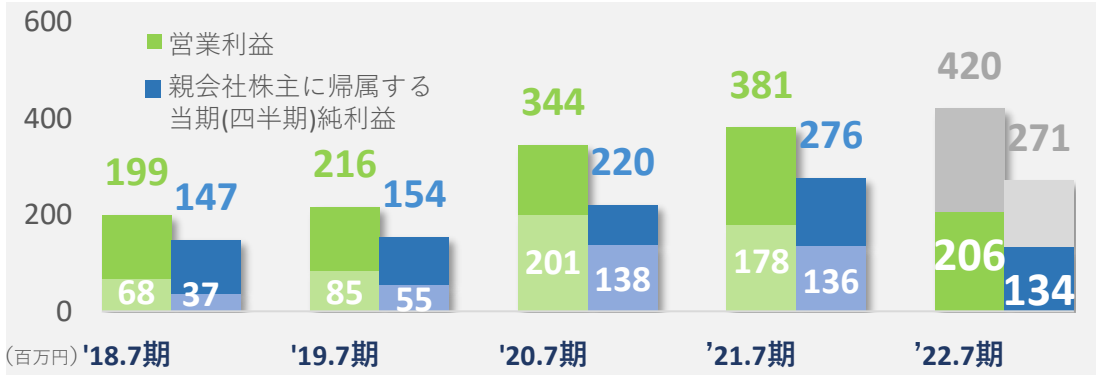
2022年7月期第2四半期 5期通期比較と進捗



通期連結売上予想の上方修正

▶ 売上
社会情報インフラ関連顧客からの受注好調
新規連結子会社の増加を見込みに反映

4~5月新入社員の採用による
待機工数の増加等を考慮し、
利益は据え置き



【参考】上場時からの成長率 ('17.7期対通期予想)

売上高 : 92.3%増
 営業利益 : 93.5%増
 親会社株主に帰属する
 当期純利益 : 66.7%増

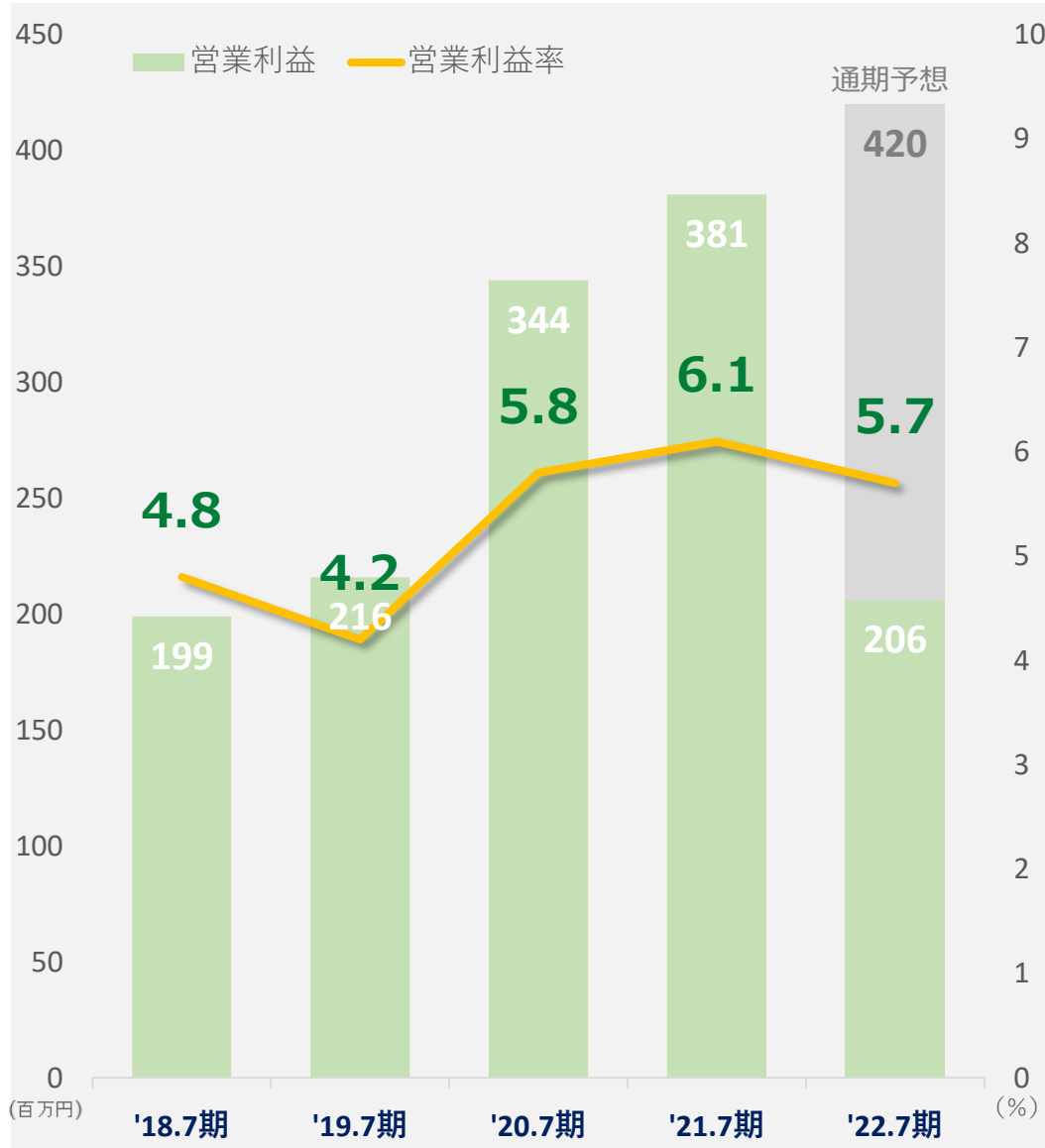
▶ 進捗率

	'18.7期	'19.7期	'20.7期	'21.7期	'22.7期
売上高	44.9	46.6	49.8	46.3	48.0
営業利益	34.5	39.4	58.6	46.7	49.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	25.2	35.7	62.8	49.4	49.4

- ◀ 売上高
- ◀ 営業利益
- ◀ 親会社株主に帰属する四半期純利益

2022年7月期第2四半期 増減要因（営業利益率）

▶ 営業利益と営業利益率の推移



▶ 例年との比較

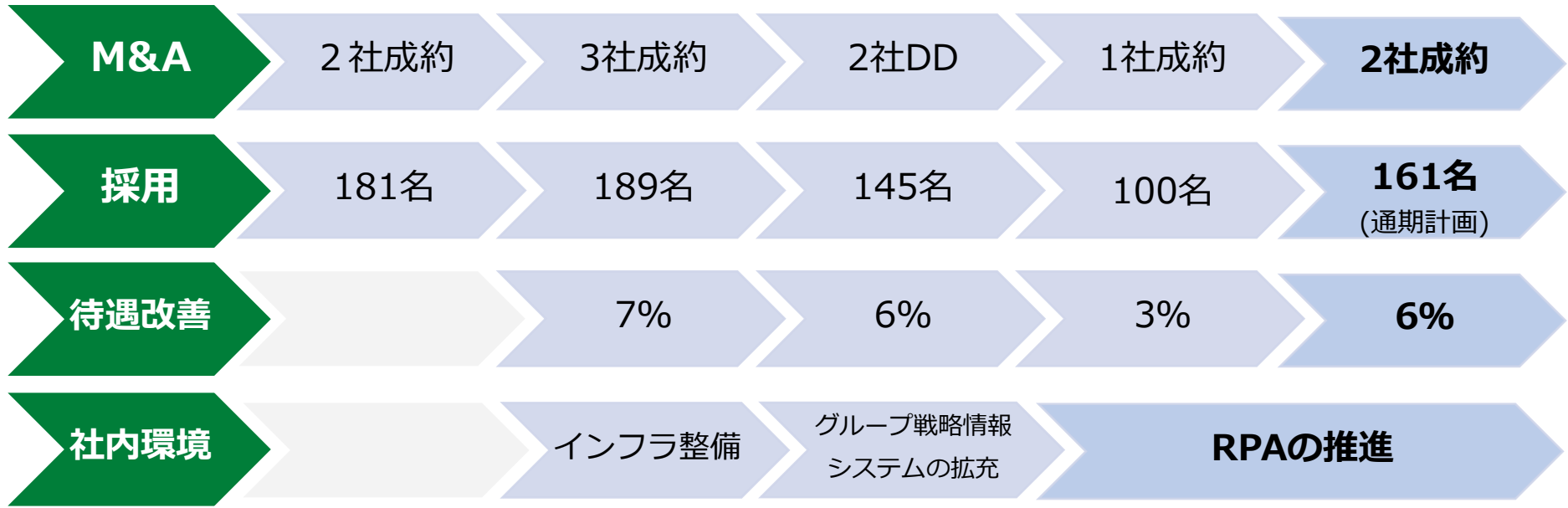
- | | |
|------|--|
| 増加要因 | <ul style="list-style-type: none"> 上場以降M&Aした会社7社の成長 RPAなど、社内システムの効率化により、時間外勤務の削減 |
| 減少要因 | <ul style="list-style-type: none"> インドネシアロックダウンによる事務所閉鎖
→ホテルでの業務継続により経費増加 |

▶ 期初予想との比較

- | | |
|------|--|
| 増加要因 | <ul style="list-style-type: none"> 不要不急の経費の見直し オンラインツールの活用による経営効率化 |
| 減少要因 | <ul style="list-style-type: none"> インドネシアロックダウンによる事務所閉鎖
→ホテルでの業務継続により経費増加 |

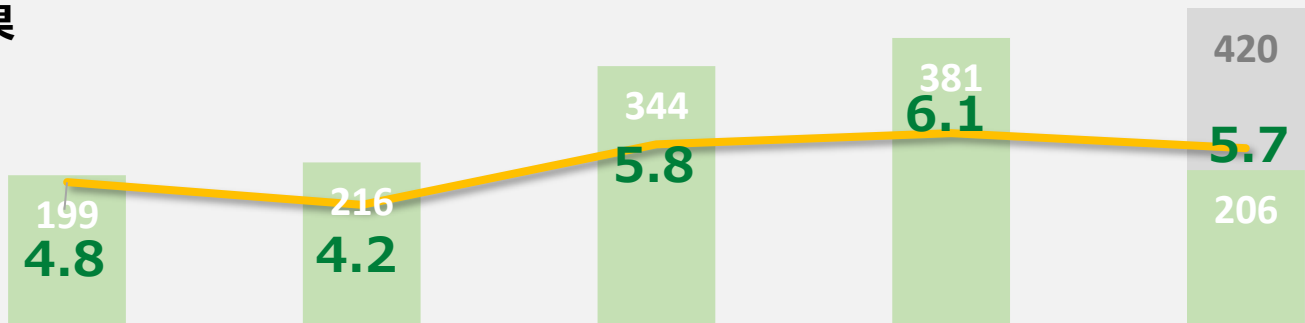
上場以降の中長期投資と営業利益率の推移

2018年7月期 2019年7月期 2020年7月期 2021年7月期 2022年7月期



▶ 中長期投資の効果

■ 営業利益 (百万円)
— 営業利益率 (%)



コロナ禍においても、『人材投資・雇用環境・M&A』への効果的な投資を、積極的に進めていく



**2022年7月期 第2四半期
トピックス**

COMMIT
For
Your
Smile

◆SDGsへの取り組み

SDGs

Sustainable
Development
Goals



SDGs(Sustainable Development Goals)とは、
人と地球環境の未来のために
解決すべき17の目標です。
企業にはこれら17の目標について、
事業を通じて取り組むことが
期待されています。

当社グループでは、
SDGsの達成に向けて、
総合情報サービスの提供を通じて
社会の持続的な発展に
貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



次ページから紹介する
トピックスでは、
SDGsの17の目標に該当する
弊社の取り組みに
アイコンを表記しています。



◆M&Aの実績

■株式会社スレッドアンドハーフ 2021年11月1日全株式を取得し、子会社化

- ・ 設立 : 2008年5月
- ・ 所在地 : 東京都千代田区神田美倉町
- ・ 事業内容 : コンピュータシステムの
開発・販売・運用
- ・ 従業員数 : 18名 (2021年8月末時点)



THREAD(糸) +HALF(半)

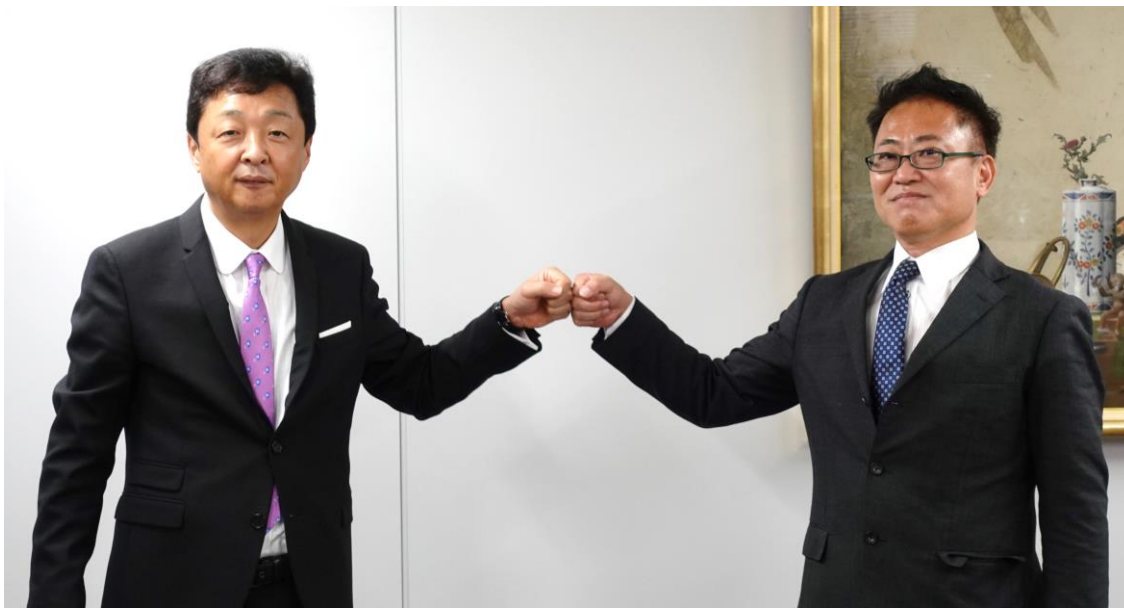
THREAD & HALF

絆

糸と半 合わせて絆(きずな) それを & (安堵) で繋げる事で
「人と人の絆を大切にすることにより安心を提供できる企業」
を目指しています。

▶グループ間の
営業連携や採用連携等で
事業の拡大を目指す

右：(株)スレッドアンドハーフ
代表取締役 岩崎 浩



◆M&Aの実績

■ マグナシステム株式会社
2022年5月2日全株式を取得し、
子会社化（予定）

- ・ 代表取締役：久保田守勇
- ・ 設立：1991年5月
- ・ 所在地：東京都新宿区早稲田鶴巻町
- ・ 事業内容：コンピュータソフトウェアの
開発・販売・運用
- ・ 従業員数：13名（2021年12月末時点）



▶グループ間の営業連携や採用連携等で事業の拡大を目指す

▶ノウハウ・経営資源の統合と経営効率化を目的とし、
事業内容が近く親和性の高い**ORG**と合併を予定

◆ M&A後の業績比較とのれん償却と残高

社名	グループ加入月	グループ加入前/事業開始時 (百万円) (注2)	
		売上高	営業利益
(株)SYI	'11.2設立	143	9
(株)エス・ケイ	'12.5取得	233	2
㈱グローバル・インフォメーション・テクノロジー	'13.7設立	56	△3
(株)総合システムリサーチ	'13.11取得	595	△7
(株)テクノフュージョン	'17.11取得	91	△20
(株)オルグ	'18.4取得	295	8
サイバーネックス(株)	'19.5取得	171	5
㈱アットワン (事業譲受)	'19.4譲受	110	20
㈱マスターズソリューション (事業譲受)	'19.8譲受	117	15
(株)レゾナント・コミュニケーションズ	'21.5取得	189	16
(株)スレッドアンドハーフ	'21.11取得	180	△0.5
マグナシステム(株)	'22.5取得 予定	101	13



'22年7月期 (予想) (百万円) (注1)				
売上高	営業利益	備考1	のれん償却額等	のれん残高
243	7	増収	—	—
208	12	増収増益	—	—
436	23	増収増益	—	—
911	38	増収増益	—	—
261	30	増収増益	5	17
499	35	増収増益	9	36
213	9	増収増益	0.7	0
111	22	増収増益	2	4
130	19	増収増益	4	17
189	14		8	49
115	△0	9か月決算	0.7	4
25	3	3か月決算	0.9	17
合計			32	149

- (注) 1. すべて監査法人による監査を受けていない参考数値又は、社内管理数値です。適切な会計処理が行われていない場合があります。のれん償却等には、顧客関連資産の償却を含んでおります。
2. (株)エス・ケイは'11.8期、(株)SYIは'12.7期、(株)総合システムリサーチは'13.9期、(株)グローバル・インフォメーション・テクノロジーは'15.7期(株)テクノフュージョンは'17.5期、(株)オルグは'18.3期、サイバーネックス(株)は'19.3期、(株)レゾナント・コミュニケーションズは'21.3で、(株)スレッドアンドハーフは'20.12期、マグナシステム(株)は'21.3期で、法人税確定申告書等より転記しております。(株)アットワン、(株)マスターズソリューションは事業譲受後1年目の'20.7期の社内管理数値です。

◆若手経営者の活躍



35歳



36歳

大きく成長している
当社グループ事業会社では、
若手経営者が活躍しています。

事業会社経営者
平均年齢



37歳

48歳



39歳



28歳

最高年齢77歳 最少年齢28歳

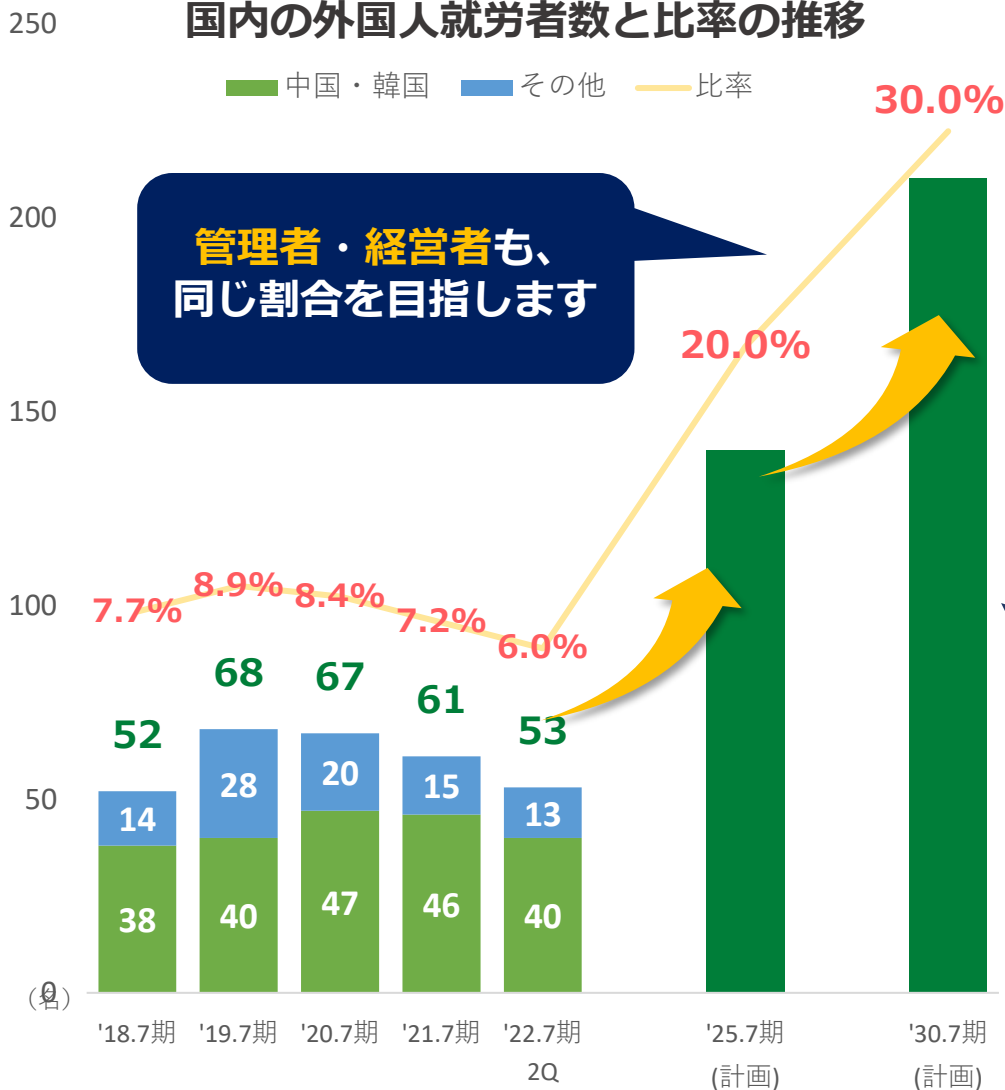
事業責任者 総人数：13名

◆外国人採用について



国内の外国人就労者数と比率の推移

■ 中国・韓国 ■ その他 ▲ 比率



▶外国人採用の考え方 …留学生以外を採用する

例1) 中国・韓国からの現地採用
「JLPT N1・N2」取得者を採用
➔「基本情報処理技術者試験」を取得


例2) 一流大学で日本語が話せない人

コロナ禍でも外国人採用を継続

➔ 入国制限により、
雇用者数は停滞

待機人数：12名

◆外国籍社員の紹介



外国籍社員のご紹介

◆女性活躍推進と働き方改革への取り組み



育児支援

- 時差出勤制度・時短勤務枠の拡大
- ベビーシッター補助金制度
- お子様同伴出勤制度
- 子どもの誕生祝金支給
- ファミリーサポート休暇



ライフワーク バランス

- テレワーク
- 平均残業時間
14.6時間
※2022年7月期2Q
- 有休取得率
67.1%
※2021年7月期



社内インフラ

- **One Drive**
- **Microsoft 365**
- **LINE WORKS**
- **Zoom**



福利厚生

- **Benefit Station**
- エクシブ施設利用
- 従業員持株会
(奨励金20%)

女性従業員比
24.2%
(2022年1月末現在)



女性管理職 : 25%
女性経営者 : 10%
外国籍社員 : 30%
加ス・ホーダー・ジエンダー-社員 : 1%

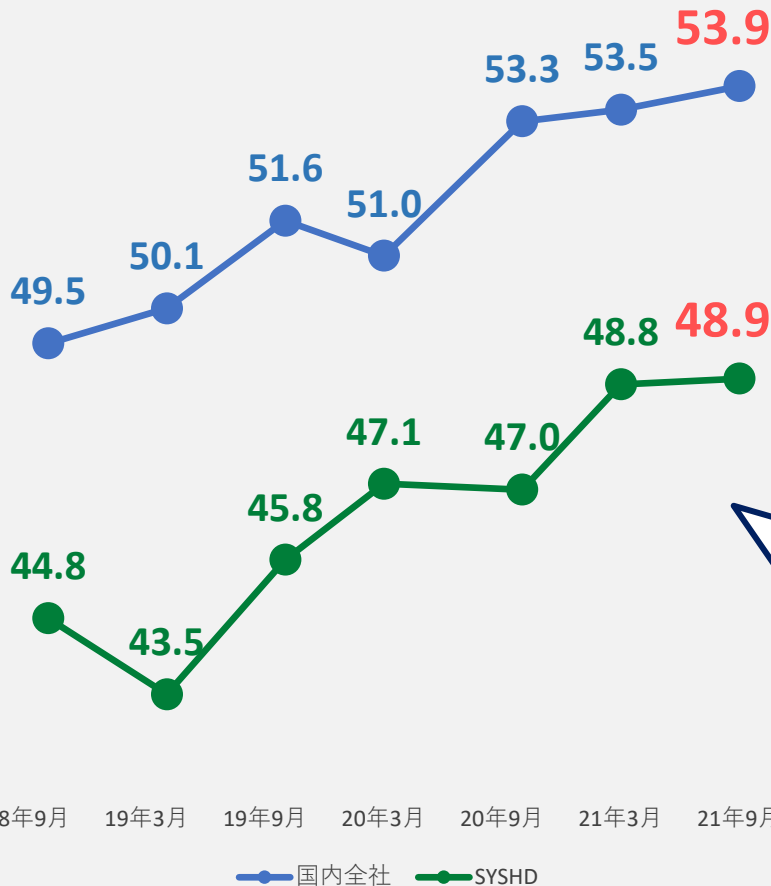
**2030年
目標**

※LINE WORKSは、LINE株式会社の商標または登録商標です
 ※One Drive、Microsoft365は、米国Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における商標登録または商標です
 ※Benefit Stationは株式会社ベネフィット・ワンの商標または登録商標です
 ※エクシブは、リゾートトラスト株式会社の商標または登録商標です
 ※Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の商標または登録商標です

◆従業員エンゲージメント向上の取り組み

2018年10月より 国内全従業員を対象に**従業員エンゲージメントサーベイ**を実施

エンゲージメントスコア (ES) 推移



従業員意識と組織課題を**可視化**



組織力向上の**アクションプラン**を
策定・実行



より働きがいのある組織・職場

エンゲージメント度合いを測る
「エンゲージメントスコア (ES)」は
毎年向上

→特に国内事業子会社が**高く推移**

**上昇率の高い
子会社**

GIT・ORG

※GIT…(株)グローバル・インフォメーション・テクノロジー
※ORG…(株)オルグ

2021年9月のエンゲージメントレーティング※は
BBとなりました。

※(株)リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」による評価であり、
BBは全11段階中上位から5段目のレーティング

◆障がい者雇用

▶エスワイシステム

**2022年3月
法定雇用率(2.3%)を達成**



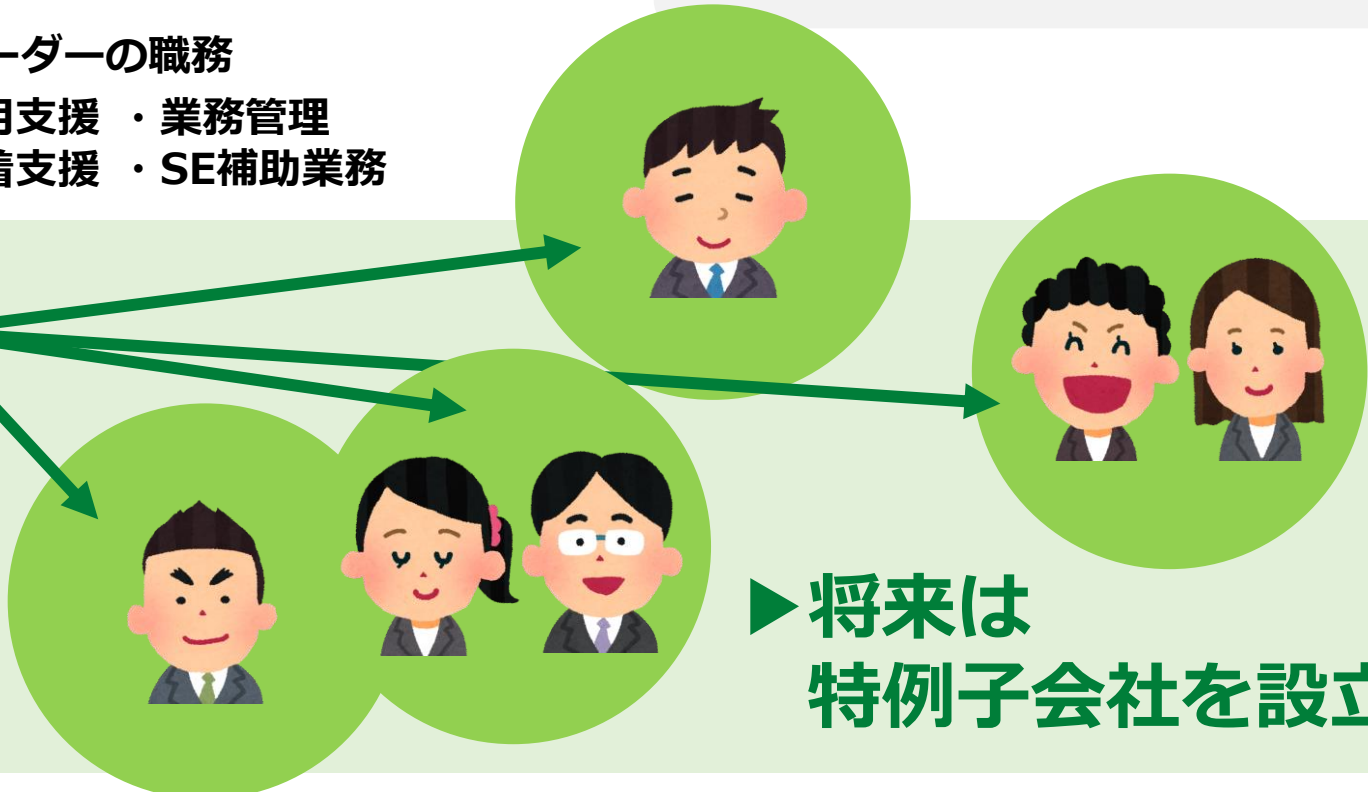
【今後の取り組み】
障がい者社員の中から
リーダー(職務適用援助者)を
育成し、全社で体制を整備



リーダー
(障がい者)

▶リーダーの職務

- ・採用支援
- ・業務管理
- ・定着支援
- ・SE補助業務



**▶将来は
特例子会社を設立**



地域清掃活動（関西）

◆CSR活動

地域活動の一環として、町内会に入会しました。



町内会のお祭りにて（関東）



地域清掃活動（中部）

◆アドソル日進との業務提携



1976年3月創業以来45年以上にわたって
社会インフラ事業や先進インダストリー事業に
おいての多岐にわたるICTシステム開発を
手掛ける東証一部上場企業

提携の内容

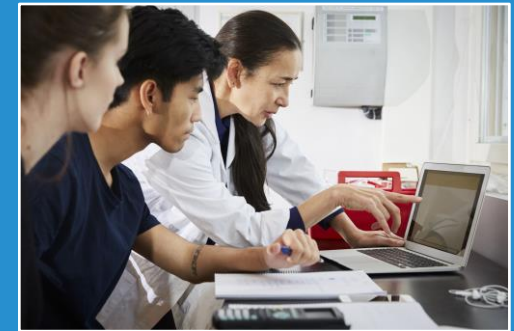
全国の
「エネルギー・システム改革」、
及び 製造・インダストリー向け
ICTシステムの
共同事業展開



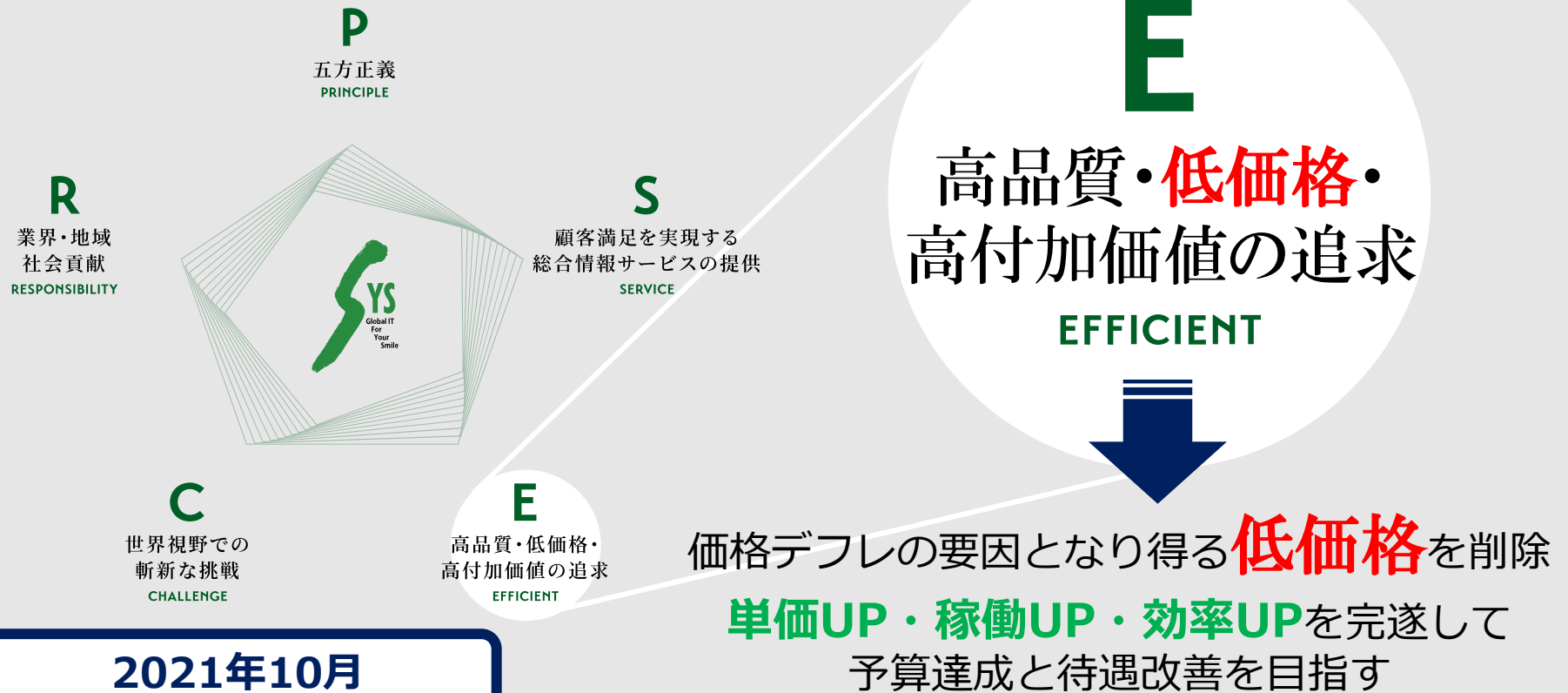
エネルギー業界向け
ソリューションの
共同研究・開発と提供



技術研修等を通じた
DX人材育成



◆企業理念の改定



**2021年10月
株主総会后より改定**

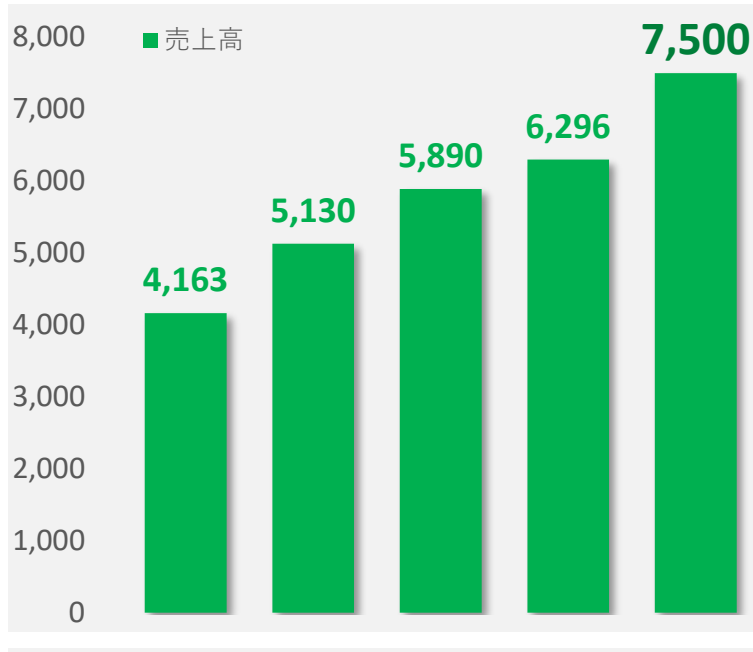
高品質・高付加価値の追求



**2022年7月期
業績予想**

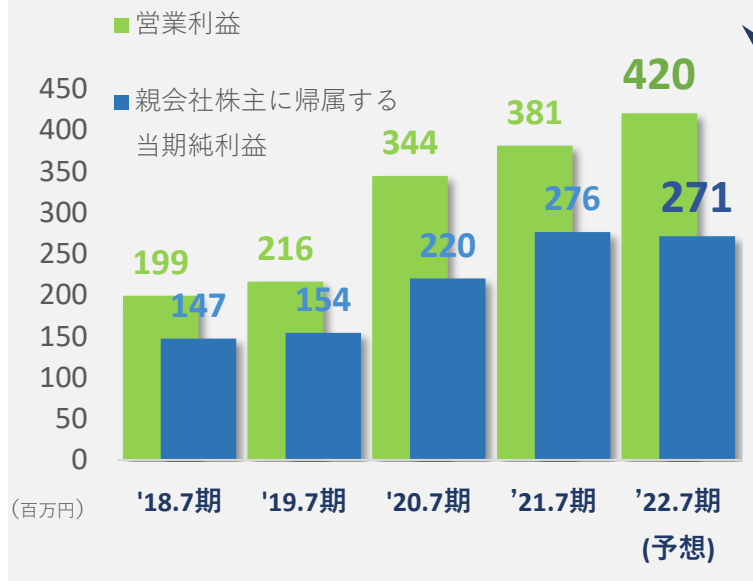
FOR
Your
Smile

2022年7月期 連結業績予想（通期）



▶ 当期比と売上比

	'21.7期	売上比	'22.7期 (予想)	売上比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	6,296	-	7,500	-	1,203	19.1%
営業利益	381	6.1%	420	5.6%	38	10.0%
経常利益	397	6.3%	422	5.6%	24	6.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	276	4.4%	271	3.6%	▲4	▲1.7%



▶ 売上

社会情報インフラ関連顧客からの受注好調
新規連結子会社の増加を見込みに反映

▶ 利益

4～5月新入社員の採用による待機工数の増加等を
考慮し、据え置き

※ 4月以降採用(新卒40名、中途25名、外国人18名)の
予想最低稼働での予測



**早期稼働を図り、
更なる増収増益を目指します。**

世界・日本経済

- ▶ 個人消費の減少
- ▶ 設備投資の低迷
- ▶ 雇用の悪化

情報サービス産業

- ▶ 新規ソフトウェア投資の抑制

いずれも長期化が懸念される

▶ 当社業績への影響

【売上高】

- 一部の業種で顧客のソフトウェア投資の抑制や見直し
- 入国制限により、雇用者数が停滞

【営業利益】

- 技術者の待機工数が増加することにより、マイナス影響

▶ 当社グループの取り組み

【感染対策】

- テレワーク
- オンライン会議の活用
- マスク会食
- 従業員の毎朝の健康チェック
- 来訪者の検温
- パルスオキシメーター、酸素吸入器の購入

【受注減対策】

- 不要不急の経費の削減
- 協力会社様との関係強化





ソリューション別売上高推移（予想）

グローバル製造業ソリューション 構成比 37.7%

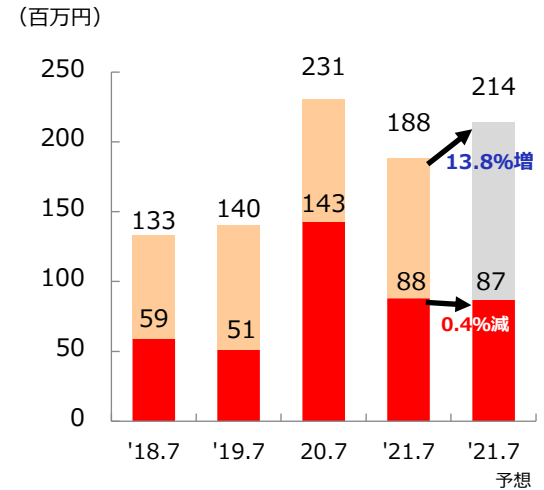
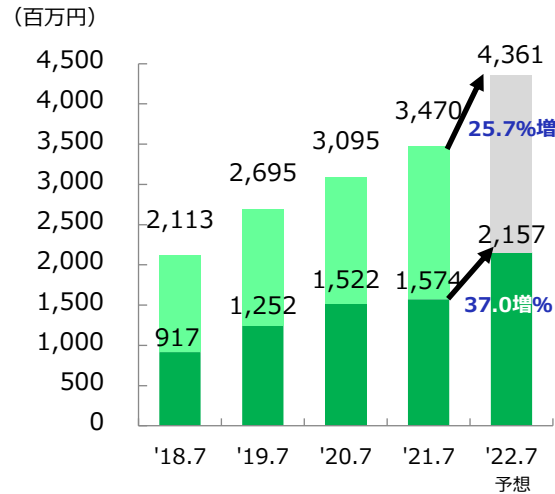
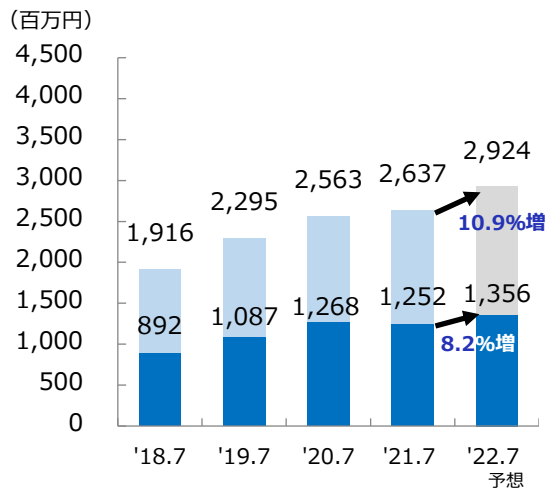
自動車, 重工業, 工作機械, 鉄鋼, 搬送機等の関連企業

社会情報インフラ・ソリューション 構成比 59.9%

エネルギー, 金融, 印刷帳票, 鉄道, 不動産等の関連企業及び官公庁, 自治体等

モバイル・ソリューション 構成比 2.4%

流通, 訪問介護, 鉄道, 医療, ロードサービス等の関連企業



◆グローバル製造業ソリューション 10.9%減

製造業の復調を受けて、車載ECU（電子制御ユニット）関連顧客等からの受注の増加を見込み増収

◆社会情報インフラ・ソリューション 25.7%増

電力関連顧客等の需要のある顧客からの受注増加を見込み増収

◆モバイル・ソリューション 13.8%増

製品のカスタマイズ等の受託開発の受注増加を見込み増収



国内地域別 売上高推移（予想）

関東に注力！

関東圏

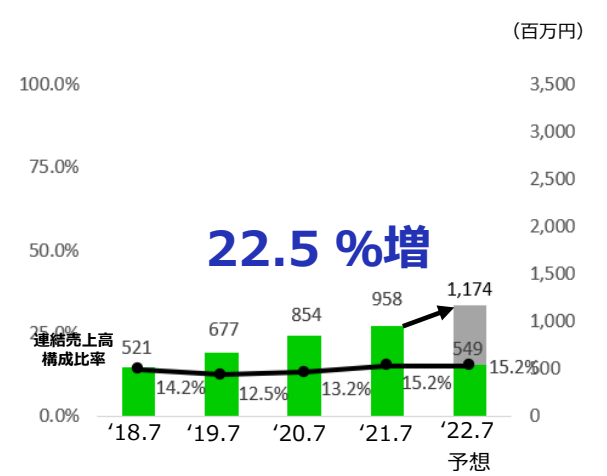
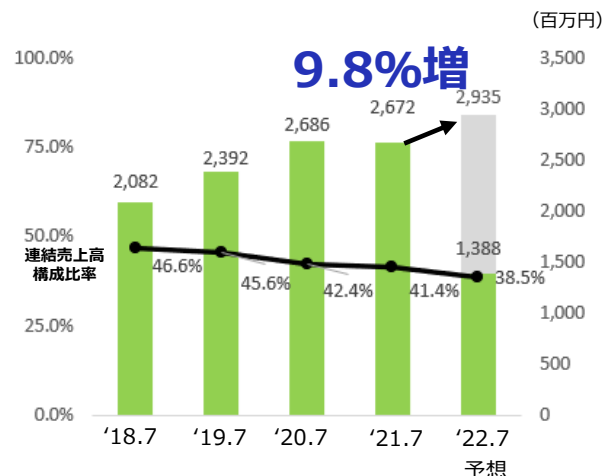
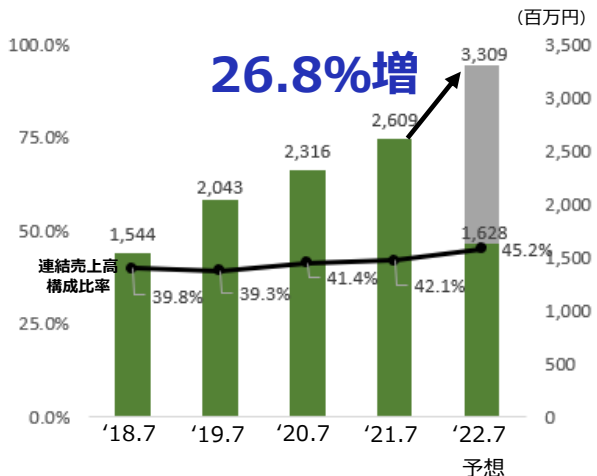
- (株)エスワイシステム
- (株)グローバル・インフォメーション・テクノロジー
- (株)エス・ケイ
- (株)オルグ
- (株)レゾナント・コミュニケーションズ
- (株)スレッドアンドハーフ

中部圏

- (株)エスワイシステム
- (株)総合システムリサーチ
- (株)エス・ケイ
- (株)テクノフュージョン
- サイバーネックス(株)

関西圏

- (株)エスワイシステム
- (株)SYI



・ 関東圏での採用実績及び計画

'18.7	'19.7	'20.7	'21.7	'22.7 (計画)
89名	56名	51名	51名	81名

※間接社員含む

地域別戦略

引き続き、市場規模の大きい**関東圏**での事業拡大に注力



今後の展開

Global IT
For
Your
Smile

車載ECU事業領域

モデルベース開発

ワイヤレスキーシステム

カーナビゲーション

オートマチック
トランスミッション

エンジン

エアバッグ

メーター関連

ブレーキ

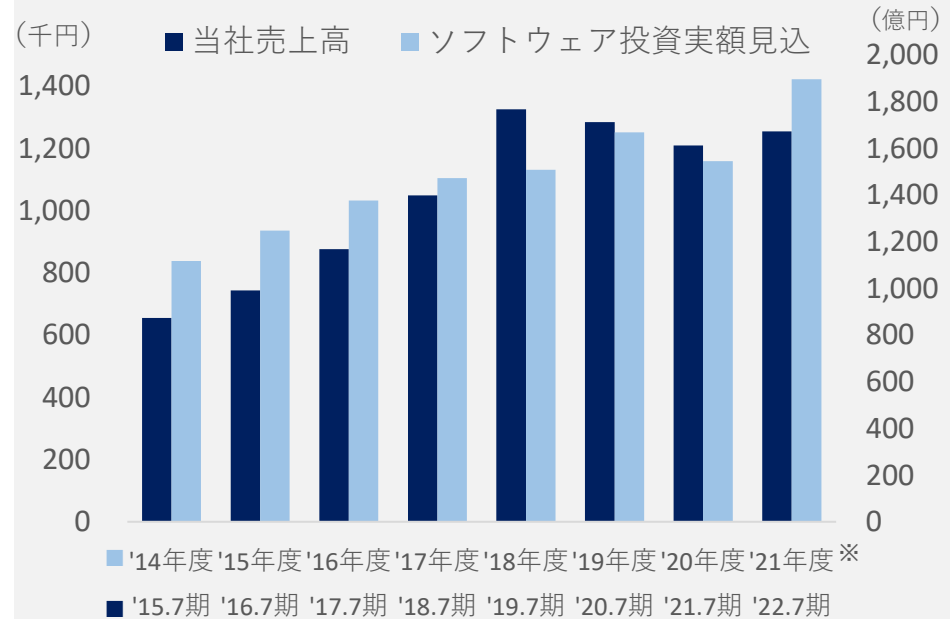
▶ 研究開発分野

- ・ヘッドアップディスプレイ
- ・コネクテッドカー
- ・プラグインハイブリッドカー

▶ 信頼性評価試験分野

- ・電波免疫性試験
- ・妨害波測定試験
- ・ドライブシミュレーター試験

▶ 当社車載ECU関連売上高の推移とソフトウェア投資実額見込



出所：日本銀行「時系列統計データ検索サイト」より当社作成 (予想)
 ('20年度以前は実績、'21年度は'21年6月調査より)
 ※ソフトウェア投資実績見込は3月決算、当社売上高は7月決算

▶ 前期比3.7%増（見込）

製造業の復調を受けて、増加見込

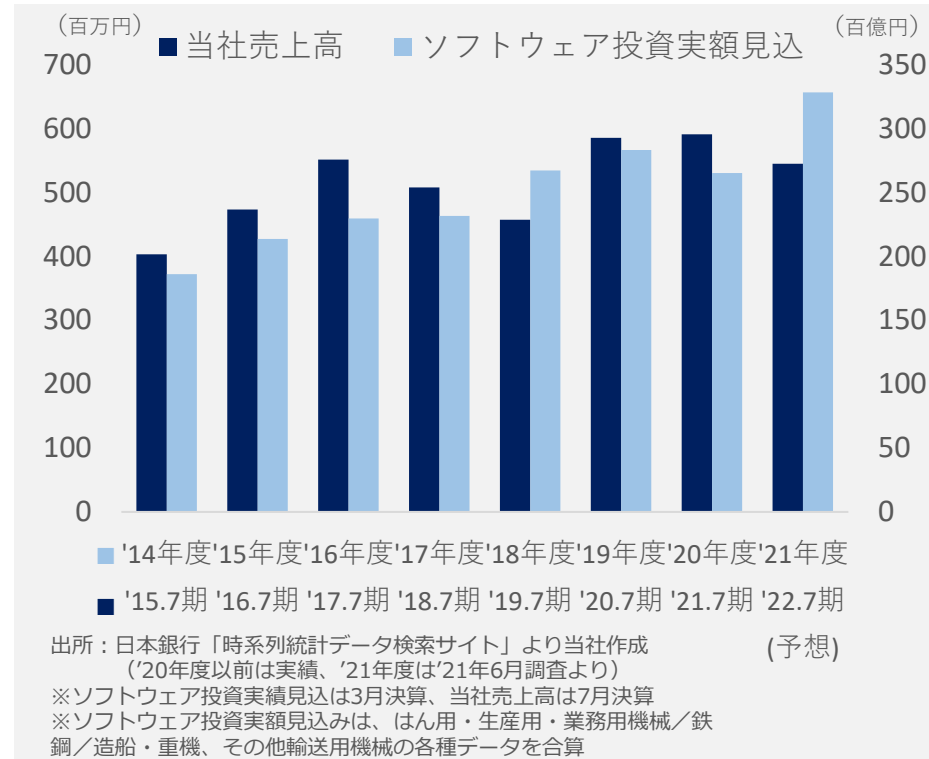
▶ 今後の課題

IDNオフショアなど伸びている分野はあるが、CASEに向けたシフトが求められる

- ▶ 大手搬送機メーカー
- ▶ 大手工作機械メーカー
 - ・ EC、スマホ社会 ・ 長時間労働
 - ・ 世界市場での強み
- ▶ 大手重工業メーカー
- ▶ 大手鉄鋼会社
 - ・ 日本を代表する基幹産業
 - ・ 長期安定的な情報システム投資

**AI・IoTを活用し、
現場の課題解決と
生産性の向上へ**

▶ 当社搬送機・工作機械等 関連売上高の推移と ソフトウェア投資実額見込



▶ 前期比7.8%減（見込）

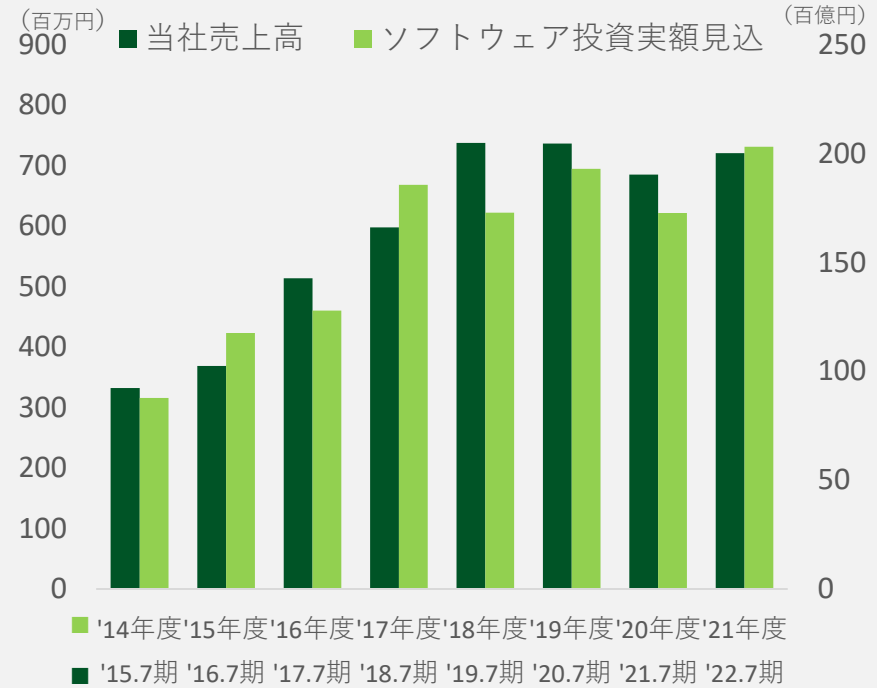
搬送機は例年並みだが、コロナ禍による顧客のソフトウェア投資見送り等により主に重工・電機分野で売上減の見込

- ▶ 大手電力会社グループ
- ▶ 大手電気保安協会
 - ・ エネルギー自由化 ・ 原発再稼働
 - ・ スマートグリッド

**AI・IoT・
ビッグデータ
大活用時代の到来で
さらに需要増**

- ▶ 大手クレジットカード会社
- ▶ 大手保険会社
 - ・ FinTech ・ RPA
 - ・ ウェアラブル

▶ 当社電力・金融関連売上高の推移とソフトウェア投資実額見込



出所：日本銀行「時系列統計データ検索サイト」より当社作成
 （'20年度以前は実績、'21年度は'21年6月調査より）
 ※ソフトウェア投資実績見込は3月決算、当社売上高は7月決算
 ※ソフトウェア投資実額見込みは、電力・ガス/金融機関の各種データを合算

▶ 前期比5.2%増（見込）

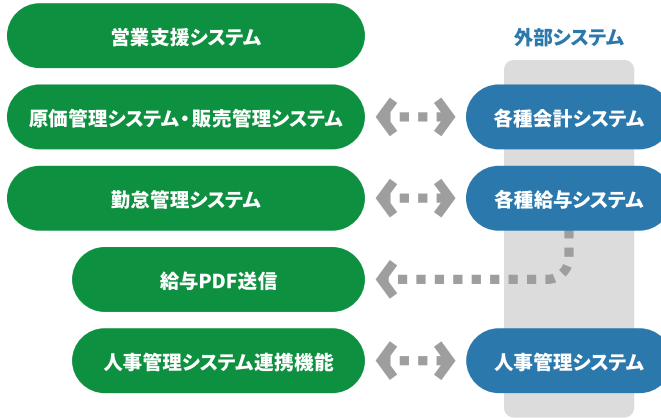
DX需要の増加等により、主に金融分野で売上増の見込



案件のご紹介

◆SYS ERP Cloud販売計画

SYS ERP Cloud



プロジェクト・工事単位の収益を明確にすることで企業は伸びる



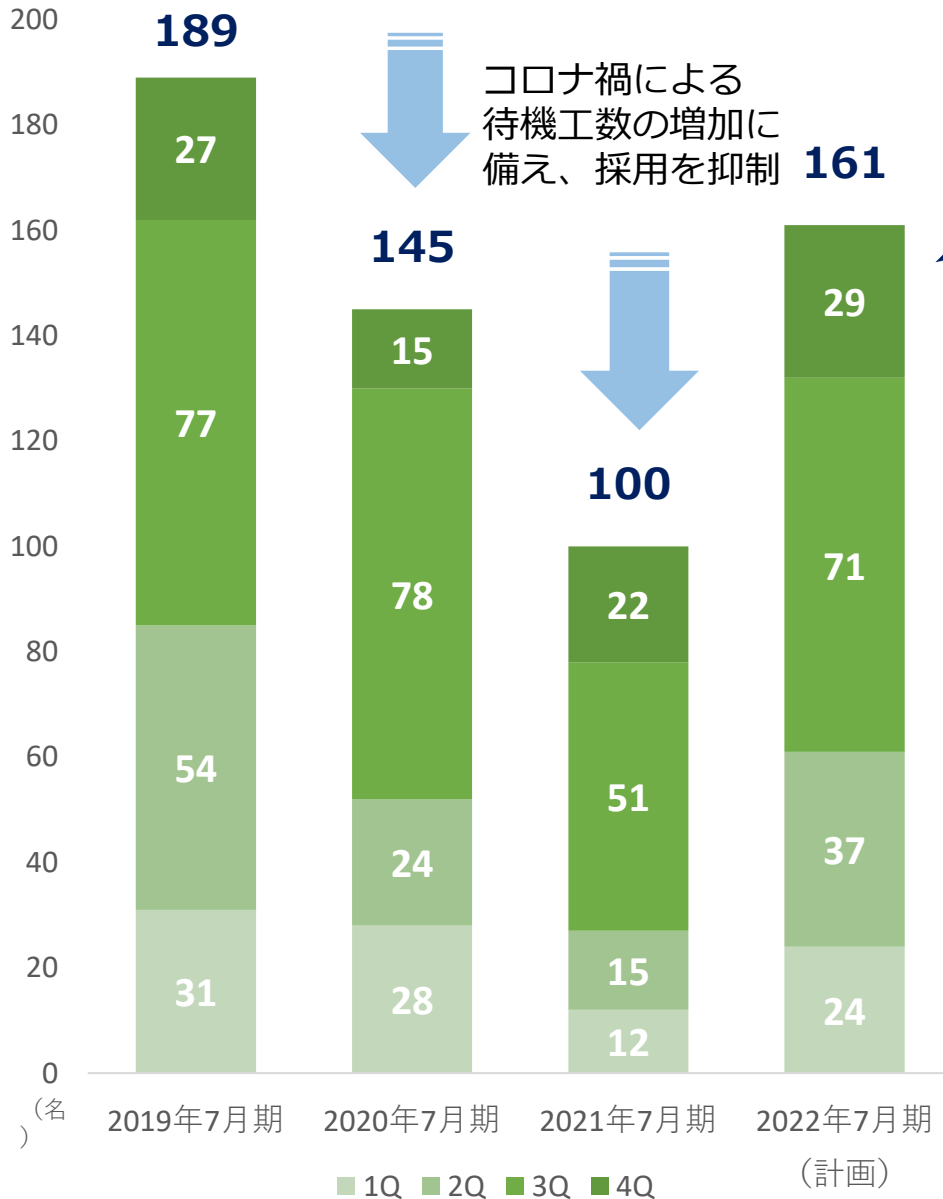
受注実績 **5**社

今期販売計画 **9**社

派遣業・IT企業にも **販路拡大**



国内従業員採用人数の推移と今後の採用計画



▶ 2022年7月期採用方針

コロナ禍の中、
能力ある人材の積極採用を
進めています。



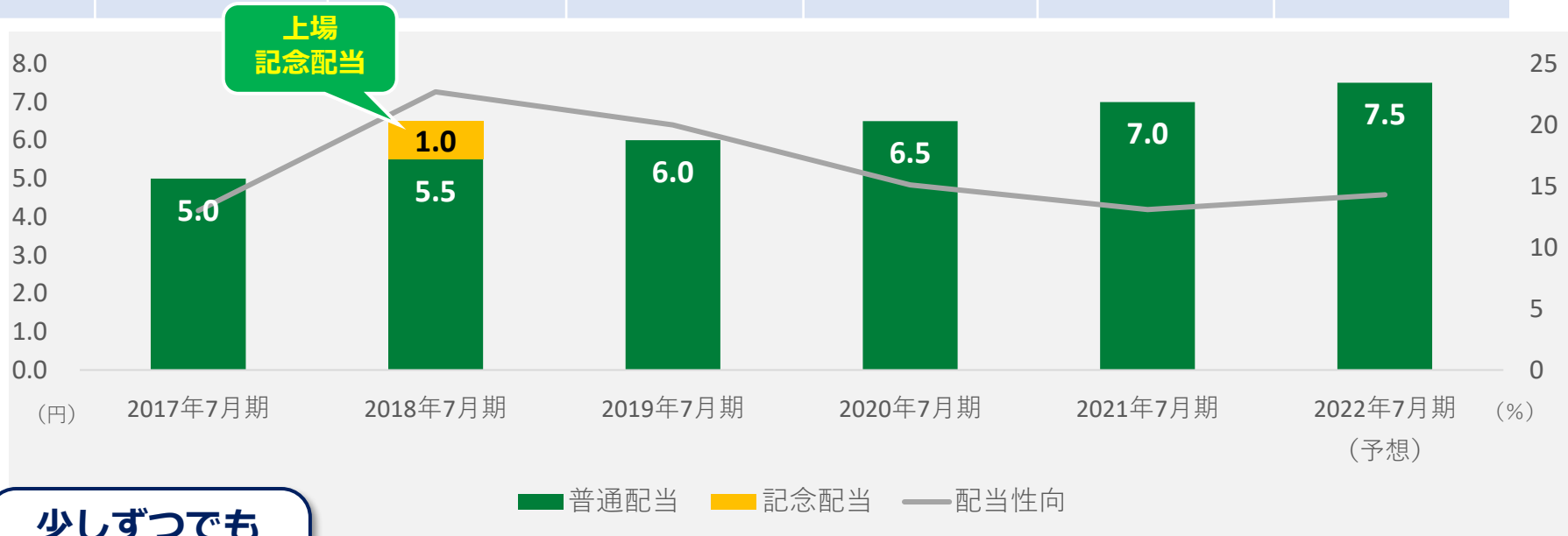
中途採用での
女性・外国籍社員採用が課題

2022年グループ総人数

1,000名を目指します



	2017年7月期	2018年7月期	2019年7月期	2020年7月期	2021年7月期	2022年7月期 (予想)
1株当たり 配当金	5.0円 普通配当5.0円	6.5円 普通配当5.5円 記念配当1.0円	6.0円 普通配当6.0円	6.5円 普通配当6.5円	7.0円 普通配当7.0円	7.5円 普通配当7.5円
配当性向	13.0%	22.7%	20.0%	15.1%	13.1%	14.3%



**少しずつでも
安定的な増配を
目指します**

当社は2018年2月1日付および2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
上記記載の1株当たり配当金は、分割換算後の数値を記載しております。
従いまして、実質的には普通株式1株につき1円の増配となります。

グローバル情報技術で笑顔を創る **当たり前を突き詰める経営**

2022年7月期の上期は、
DX需要等で順調な業績を築くことができました。

2022年7月期通期も、
5期連続の増収増益を目指します。

① **技術者の採用育成**

② **6%の待遇改善**

③ **積極的なM&A**

利益率を落としても、**事業拡張を追求します。**

今後ますますお引き立てのほど、
よろしくお願いたします。



代表取締役会長兼社長 鈴木裕紀

本資料に記載した内容等は、資料作成時における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。

また、業績見通し及び将来予想についても、資料作成時点において入手可能な情報に基づいた内容であり、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、実際の業績とは異なる場合があります。

投資を行う際には、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

【I Rに関するお問い合わせ先】
株式会社SYSホールディングス
I R担当
T E L : 052-937-0209
E-mail : newinfo@syshd.co.jp